

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
諏訪市	有賀地区	令和5年3月27日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	46.6ha
②アンケート調査等に回答した地区内耕作者の耕作面積の合計	27.9ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	19.9ha
i うち後継者不在の農業者の耕作面積の合計	6.2ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	7.1ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.7ha
（備考）	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・平地の水田は受託先の担い手がいるが、西街道より山側にある畑は受け手がおらず、荒廃化が危惧される。 ・現状の担い手の一部には、高齢化や後継者不在といった状況がある。 ・ここ数年、鳥獣（特にニホンザル）による被害が顕著。 ・水田の水路の老朽化が進んでいる。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> ・平地の大部分を占める水田において、他地区で推進中の基盤整備事業を視野に入れた対策を検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の水田の担い手の経営能力に余力があるため、水田については担い手へ集約・集積する。
<ul style="list-style-type: none"> ・畑については、山付き・不整形などの条件のものが多く、担い手の経営状況からしても受託は困難。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

<ul style="list-style-type: none"> ・中間管理機構を通じた農地の賃貸借の推進を行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特産品の検討を行う。